

構造物における高張力鋼およびその活用に 関する研究発表会論文募集要項

共 催：日本学術会議一橋梁・構造工学研究連絡委員会、土木学会、日本建築学会

上記の問題に関する研究発表会を本年 10 月上旬、2 日間にわたり開催いたしますから、多数ご応募下さい。高張力ボルト、プレストレスト コンクリート、ケーブル、2H 鋼、TI 鋼などについてのいろいろ有益な研究の発表を期待しております。

原稿枚数：学会誌刷上り 4 ページ以内 (400 字詰原稿用紙 24 枚以内、図表、写真をふくむ)

原稿締切日：昭和 36 年 8 月末日

論文応募に関する問合せ先ならびに原稿送付先：日本学術会議事務局一橋梁・構造工学研究連絡委員会 (東京都台東区上野公園内、電 (821) 3751)、土木学会または日本建築学会

その他：1. 原稿の採否は日本学術会議一橋梁・構造工学研究連絡委員会にご一任下さい。

2. 研究発表会は東京において 10 月上旬開催の予定です。

北 海 道 支 部 行 事 案 内

支部所在地：札幌市大通東 1 丁目 北海道電力 K K 土木部総括課内 Tel. 5-1111 (内線 361)

(1) 研究発表会並びに講習会

- | | |
|------------|--|
| 1. 期 日 | 研究発表会 昭和 36 年 2 月 27 日 (月) 9 時~17 時
講習会 昭和 36 年 2 月 28 日 (火) 9 時 30 分~16 時 30 分 |
| 2. 場 所 | 27・28 日とも札幌市北 1 条西 1 丁目 札幌市民会館 2 階 1 号会議室 |
| 3. 人員および会費 | 約 200 人 会費無料 申込は当日会場で受付 |
| 4. 印刷物 | 研究発表会 技術資料第 17 号として期日前に会員に配布します。
講習会 当日会場にて御渡します |

5. 研究発表会内容 (順不同)

- | | |
|--|--|
| 1) 路線の土工量算出について
2) 経済性を考慮せる合成構バウンスド アーチ橋の設計試案とその力学的研究
3) トラストガーダーの応力解析について
4) 合成桁のシベルについて
5) 擁壁剛性に関する一方法
6) 有限振幅長波の変形
7) 豊平川の流出解析
8) 道路側溝の水理的研究
9) 変形平板の曲げについて
10) 右左府地下発電所工事について
11) 背函隧道調査について
12) 操車場計画について
13) ケミカルフィーダーのオートメーションについて
14) 梁留橋架換え工事について
15) ソイル サンプリングによる 2, 3 の実験
16) セルラーブロックによる防波堤
17) 狭間橋井筒沈下工法の報告
18) 石狩川上流部における洪水流出
19) 護岸の水理学的特性
20) アスファルトの物理的諸性状に及ぼす固形パラフィン分の影響について
21) 留佐川河口維持に関する実験的考察
22) P C グラウト品質に及ぼす各種セメントの影響について
23) 昭和 35 年度における北大衛生工学科の概況について
24) コンクリート舗装被覆工法の試験施工について | 柏 谷 与 一 (函 館 市)
中 村 作 太 郎 (室 工 大)
能 町 純 雄 (*)
能 町・尾 崎 (*)
能 町・志 村 (*)
岸 力 (北 大)
岸 ・中 尾 (*)
岸 ・坂 倉 (*)
芳 村 仁 (*)
前 口 正 蔵 (北 電)
原 口 正 一 (函 鉄)
西 島 等 (*)
岡 本・乙 川 (札 幌 市)
奥 山 秀 樹 (帯 広 開 建)
宮 川・佐々木 (土 試)
石 倉 健 二 (北 海 道)
小 林 幸 夫 (*)
高 瀬・外 3 名 (治 水 事)
岸・小 川・池 田 (土 試)
竹 村 健 (*)
古 谷・禰 上 (*)
藤 田 嘉 夫 (北 大)
林 猛 雄 (*)
白 井・三 浦・佐 藤 (土 試) |
|--|--|

6. 講習会内容 3~4 件

関西支部行事案内

(大阪市東区大手前之町 大阪合同庁舎 近畿地方建設局企画室内)
 (電・大阪(94)代表 7041 振替口座 大阪 82599 番)

(1) 工事研究会 (パイル)

土質工学会関西支部と共催

- 1) 日 時: 昭和 36 年 2 月 25 日 (土) 13~17 時
 2) 場 所: 大阪建設会館 大阪市東区京橋三丁目 天神橋南詰東側
 3) 研究題目:
- | | | |
|---------------|--------------------|--------------|
| ① 圧入式工法 | ⑥ 真管式工法 | ⑪ H パイル |
| ② ジェット式工法 | ⑦ オーガー パイル | ⑫ 鋼管 パイル |
| ③ 振動式工法 | ⑧ ミックス イン プレース パイル | ⑬ シンガポール パイル |
| ④ ペDESTAL パイル | ⑨ レイモンド パイル | ⑭ モノチューブ パイル |
| ⑤ ベノット工法 | ⑩ コンクリート 既製杭 | |

以上 14 種のパイルについて資料配布の上関係方面の説明があり、これに対して研究討議を行なう。

- 4) 定 員: 150 名
 5) 参加費: 無 料
 6) 申込期限: 昭和 36 年 2 月 15 日 (水)
 7) 申込方法: 参加希望者は勤務先、連絡先および氏名をハガキに明記して関西支部へ申し込んで下さい。ただし参加章は出しません。なお申込期限内でも定員に達したときは先着順で決めますから至急お申し込み下さい。

(2) 海岸工学に関する講習会

- 1) 日 時: 昭和 36 年 3 月 28 日 (火), 29 日 (水) の 2 日間 9 時より
 2) 場 所: 大阪府職員会館 2 階大講堂 大阪市東区大手前之町 大阪府庁本館西裏
 3) 題目および講師:

第 1 日 (3 月 28 日)

9.00-9.10	開会挨拶		支部長 近 藤 勇
① 9.10-10.10	台風構造	大阪管区気象台技術部長	藤 井 義之
② 10.10-11.10	高潮に関する諸問題	大阪大学工学部教授	工博 田 中 清
③ 11.10-12.10	風波に関する最近の研究	京都大学理学部助教授	国 司 秀明
④ 13.00-14.00	海岸および港湾の模型実験について	京都大学防災研究所教授	工博 岩 垣 雄一
⑤ 14.00-15.00	海岸漂砂に関する最近の諸問題	京都大学防災研究所助教授	工修 楳 木 亨一
⑥ 15.10-16.10	海岸汚染に関する諸問題	国立公衆衛生院衛生工学部	工博 南 部 祥一

第 2 日 (3 月 29 日)

⑦ 9.00-10.00	最近の研究にもとずいた防波堤および防潮堤の設計法	大阪市立大学工学部教授	工博 永 井 荘七郎
⑧ 10.00-11.00	大阪湾防波堤の建設計画	運輸省第三港湾建設局長	工博 東 寿
⑨ 11.00-12.00	地盤沈下について	京都大学防災研究所教授	工博 村 山 朔郎
⑩ 13.00-14.00	わが国経済の発展と港湾整備	運輸省港湾局計画課長	工博 比 田 正
⑪ 14.00-15.00	わが国の海岸保全事業について	建設省河川局海岸課長	安 芸 元清
⑫ 15.10-16.10	最近における二、三の港湾計画法について	運輸省第三港湾、神戸調査設計事務所長	長 尾 義三
⑬ 16.10-17.00	港湾工事の管理計画について	運輸省第三港湾、先任港湾工事検査官	小 松 雅彦

- 4) 定 員: 400 名
 5) 参加費: 400 円 (テキスト代をふくむ)
 6) 申込期限: 昭和 36 年 3 月 8 日 (水)
 7) 申込要領: 参加希望者は勤務先、連絡先および氏名を明記の上、参加費 400 円 (送金は振替口座利用のこと) を添えて関西支部へ申し込んで下さい。ただし申込期限内でも定員に達したときは先着順で決めますから早くお申し込み下さい。なお、テキストのみの希望者には 1 部 400 円 (送料は追って広告) でお煩ちします。

(3) 高速度計算機の土木工学への応用講習会

(昭 36.2.15, 16 の 2 日間 大阪府職員会館)

詳細 12 月号登載の講師 西原教授の所属 (電子工学教室) は (原子核工学教室), 第 3 部資料編 (成岡教授編) の資料末尾の Computer Calif., のリストは Computation Conf., などのリストと訂正いたします。
 なお、テキストのみの希望者には 1 部 300 円 (送料は追って広告) でお煩ちします。